

平成23年12月21日開催教育委員会会議記録

1 開会・閉会等について

日時	平成23年12月21日(水) 午後2時00分
場所	教育委員会室
開会	午後2時00分
閉会	午後2時38分
出席委員	
委員 長	横井利男
委員	高木新太郎
委員	鈴木みゆき
委員	雁部隆治
教育長	横山信雄
説明のために出席した職員	
教育委員会事務局次長	小暮真人
庶務課長	後藤隆宏
学務課長	藤田悟
指導室長	橋爪昭男
すみだ教育研究所長	渡部和美
生涯学習課長	金子しのぶ
スポーツ振興課長	中山賢治
あずま図書館長	村田里美

2 会議の概要

- **横井委員長** それでは教育委員会を始めたいと思います。本日の会議録署名人は高木委員にお願いいたします。

議決事項第1

議案第70号「幼稚園教育職員の管理職手当てに関する規則の一部改正について」の案件を上程し、庶務課長が説明する。

- **横井委員長** 何かご質問はございますか。

- **横井委員長** それでは、議決事項第1、議案第70号「幼稚園教育職員の管理職手当てに関する規則の一部改正について」は、原案どおり改正することにしたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

- **横井委員長** それでは、原案どおり決定いたします。

報告事項第1

「墨田区監査委員の就任」について資料1のとおり、庶務課長が説明する。

- **横井委員長** 報告承りました。

報告事項第2

「土地の取得及び公有財産の引渡しについて」を資料2のとおり、庶務課長が説明する。

- **横井委員長** 何か質問はございませんか。
- **高木委員** 二寺小学校の隣接地だから大変良いと思います。単価を教えてください。
- **庶務課長** 契約金額は、1億7千4百83万7千6百円です。
- **高木委員** 一平方メートル当たりいくらになりますか。
- **庶務課長** 36万円です。
- **雁部委員** ここは出入り口として使うのですか。
- **庶務課長** 二寺小学校は西側と南側にしか出口がなかったのですが、この用地を買うことによって北側の通路を確保することができます。しかし、この北側の道は私道ですので、通学路等として使うには馴染みません。非常時などに開閉できるようにと想定しております。
- **横井委員長** 他に質問はございませんか。

報告事項第3

「平成24年度区立小・中学校希望選択申込一覧（最終報告）」について、資料3のとおり、学務課長が説明する。

- **高木委員** 例年のことですが、本所中学と両国中学の申込が多いですね。最終的には落ち着くのですか。
- **学務課長** 補欠の方が繰り上がれないということで、本来の学区域の学校に行くことになります。例年100人前後は繰り上がっていますが、本年度は予測がつかない状況です。昨年までの例ですが、両国中学校の繰り上がりは、学区域内の児童が私立等の中学校に入学するというのが主な理由です。
- **高木委員** それで100人が繰り上がるというわけですね。では、小学校の場合はどうですか。この例でいうと、多いのが柳島小学校と第二寺島小学校ですね。
- **学務課長** 本来なら、このようなケースについては募集を停止していたのですが、今回募集をしましたので、いわゆる当選者ゼロということになります。説明の上、それを承知の上で申し込んでいただいています。最悪の場合、当選者ゼロということもあり得ます。
- **雁部委員** 最終的な結果ではないのですが、これは、選択制といいながら希望した学校に入れない子どもたちがいるということですね。この子どもたちは私立に行かないかぎり、自分の学区域の学校に入学することになります。ここで気を付けていただきたいのは、本人が望んでいない学校に行くということなんです。特に中学生については、その学区域の学校に入った時に、この学校はよくない

など失望を抱かせるような形にしてしまうとかわいそうだと思います。今から来年入学するというのはわかっているのですから、その学校に準備という心構えを持ってもらうことが必要だと思います。そこに入学してくる子どもたちを失望させない状況、環境にしていただかないと、行きたかった学校に行けなくて、望まないで来ているということになってしまうので、その辺を気をつけないといけないと思います。

- **学務課長** 私どもの希望としては、どの学校も同じような学力を身に付けることができ、それなりの施設と設備も整っているのが地元であり、安心して地元の学校に行ける状況を作り出すのが一番いいのだと思います。しかし、結果的にできていないのが現状です。学校選択制は、基本的には皆さん地元の学校に行っていただいた上で、もし受入れに余裕がある場合に限り希望ができるという主旨で行っております。確かに希望に添えないということはあると思いますが、できる範囲で受け入れるという姿勢です。そのところをご理解いただかなくてはならないと思うのと同時に、学校もそれなりに、より良い環境づくりへの準備をしなければならないと思います。
- **高木委員** 学校選択制はいつかきっちりやらなくてはいけないと思います。現に本会議でも学校選択制について質問があります。この問題にはいろいろな人が関心があり、どこかで皆にわかるように公表すべきだと思います。それから、この表についてですが、見方が2つあると思います。中学校を例にとると、本所中学校、両国中学校がなぜこんなに申込人数が多いのかという見方と、もう一つは吾婦第一中学校と文花中学校の学区域の生徒が、なぜ他の学区の中学校を受けたがるのかということです。これは保護者の意識ですね。その辺を考える有力な素材だと思います。この4つの学校を問題視しているわけではありませんが、ただ見方としてそういうことがあるのだと思います。
- **学務課長** 前回の教育委員会の中で、雁部委員からアンケート調査をして、どういう理由でこの学校を選んだのか、あるいは避けたのか、その理由を把握すべきである、という話がありましたが、我々も検討しておりまして、希望選択を出していただくときにアンケートを入れたらどうかということも考えています。そういったことも、一つの参考にさせていただきたいと思います。
- **高木委員** アンケートの作り方が難しいと思います。好きな学校を選ぶ場合はいいのですが、この学校は嫌だというのは、なかなか書きにくいと思います。その学校に戻る可能性がありますから。アンケートの作り方が難しいと思うので、工夫して作ってください。
- **雁部委員** 今、高木委員がおっしゃったように、心配なのは、人気のある学校はいいのですが、やはりこの数字を見ても、文花中学校の人数は普通の数字ではないので、その辺はその学校の良いところをどんどん宣伝して、マイナスのイメージを取り除いていかないと。風評だけで、いろいろ問題があつて嫌だなど、そういう避け方になるのが一番よくないと思います。文中は文中なりの良い所がたくさんあるのですから、そういう所をもっとアピールし、良くないところは少しでも削って直していくようにしないと、なかなか状況に戻すのは大変だと思います。教育委員会のほうでもフォローをお願いします。

報告事項第4

「生徒・児童に関する事故等について」、資料4のとおり、指導室長が説明する。

- **高木委員** 中学校で3件ありますが、家出というのはどういう状況なのですか。
- **指導室長** 同一の生徒が含まれていますので、2件となります。
- **高木委員** 一人の生徒が繰り返しているのですね。以外と重症ですか。
- **指導室長** 短期間では、戻ってきているのですが、友達の家に行ってしまうようです。

- **高木委員** 今は落ち着いているのですね。
- **指導室長** はい。
- **横井委員長** 管理下の飛び出し事故というのは、校外学習をしているときですか。それとも登下校のときですか。
- **指導室長** 登下校のときです。
- **指導室長** 先ほどの家出の件ですが、同一生徒ではなく、同一校の二人の生徒が同じ場所に家出したということです。
- **横井委員長** それが友達の家ということなのですね。
- **雁部委員** いじめ等が大きな学級崩壊等につながって、家出の話についても当然不登校等にも絡んでくると思います。学力向上に重点を置くということになれば、学習環境を整えていかないと、学力は上がっていかないと。ですから、学校によって違いはありますが、個々のいじめに対してその場で解決する方法もありますが、相対的にいじめや学級崩壊をなくすという研究を教育研究所でしていただきたいのです。前にも言ったことがあります、いじめや学級崩壊をなくす有効な実験的な手段があつて、実践している学校ではいじめ等がだんだん少なくなっている等、成果がでている学校もあります。その辺についても検討してください。全部一辺にとは言いませんが、どこかで試しに行ってみるといふ手もあります。具体的にいじめ等がなくなっていくという方向にもつていかないと。学力等の問題を解決するにはマイナスの面もなくしていかないと、学力も上がっていかないと。勉強ができる環境を作るといふことが大事だと思います。家庭学習が最近問題になっていますが、環境を作ることが大事になってくると思うので、具体的に解決策を研究して検討していけば良いのではないかと思います。
- **指導室長** いじめ等が起きてから対応するのではなく、防止について各学校に指導しております。道徳の時間を中心に指導を行い、教育相談的な指導も行うよう助言しております。
- **横井委員長** 家出にしてもいじめにしてもそうですが、難しいと思うのは、例えば見かけ上家出に見えるときに、それがその子どもの側の問題なのか、場合によっては、家庭の教育に何か問題があつて、いたたまれなくてということもあるかもしれないので、かなり対応が難しいと思います。子ども同士の暴力行為があつたときに、見かけ上いじめだからだめだという指導は必要だとしても、もっと複雑な要素がいろいろあるだけに、根絶しようとする、かえって学校が管理的になりすぎる恐れがあります。特に中学生くらいになると難しいですね。発達段階を先生方も十分理解したうえで、子どもの心情を理解するなど、難しいとは思いますが、先生方には頑張ってもらいたいと思います。
- **高木委員** 横井委員長は元校長先生だったからお聞きしたいのですが。生活指導の先生は、どんなことをしているのですか。いろいろなケースがあるとは思いますが。
- **横井委員長** その実態にもよります。小学校と中学校でも違いますので、その辺は指導室長に聞いた方がいいと思います。
- **指導室長** 生活指導の先生方は、乱れないようするというのが第一で、朝礼等で防止を呼びかけたりしています。事故が起きてからの対応もありますけれど、両面でやっております。小学校については、担任の先生がいるのでなかなか生活指導部としての動きは中学校よりはちょっと小さいと思います。
- **鈴木委員** 保護者の受け止め方というのもありますね。本来は、そうではないのに保護者としては、

いじめられたという思い込みを持ってしまう。そうするとボタンの掛け違いなどが起きると大変だと思います。

- **指導室長** 原因が複合的になっております。学校に調査しても、複合的にとらえていますので、様々な面から指導しております。
- **高木委員** 一番怖いのは、何度もいじめられるということです。いろいろな人からいじめられるとか、そういう場合が一番危険だと思います。
- **雁部委員** 学校をよくするために学校運営協議会が作られて、そこには地域の方や民生委員さんなど、学校によってメンバーは違いますが、そういう方がいらっしゃいます。学校だけで解決するのは無理だと思いますので、問題を共有して、どうしたらいいか相談すれば皆さん協力してくれると思います。そのための学校運営協議会ですので、相談した方がいいと思います。
- **指導室長** ケースによっては会議を開いて、関係機関の方に来ていただき、今後どうするか等の話し合いも行われております。

報告事項第5

「「図書館協議会設置の請願」について（回答）のその後の経過についての問合せ」について、資料5のとおり、あずま図書館長が説明する。

- **高木委員** 利用者の声を聞くというのは賛成ですが、図書館協議会にすると縛られているような感じがします。他の区はどうなのでしょう、調べていただけますか。
- **あずま図書館長** わかりました。
- **横井委員長** 他に質問はございませんか。以上で、予定の議決事項・報告事項はすべて終了しました。これで教育委員会を閉会します。